



# 藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和6年5月1日 校長 竹田 聡

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、4月20日(土)の授業参観・学級懇談会に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。昇降口でプリントをお渡しするとき、目を合わせてお礼を言う方が多くて、とても嬉しく思いました。この姿が子どもの手本になっていると思いました。

5月は体育祭に向けて、5クラスの縦割りで取り組みます。5クラスの縦割り活動ができる中学校は少なくなりました。今年度も、団長を中心に熱い戦いが繰り広げられますので、ご家庭でもご理解、ご支援をよろしくお願い致します。

## 〈4月30日 学校朝会 「配分」〉

学校朝会で、私から次の話をしました。

新しい学年が始まり今日で7ヶ月が終わります。新学年始まりは、意欲が高く、緊張感もあり、気の張った時期です。「始めよければ終わりよし 終わりよければすべてよし」と言うように、スタートダッシュがうまくいくことで、中盤から後半も円滑に進みやすくなります。ただ、4月の気の張りを1年間続けることは大変だと思います。そこで今日は、「配分」について話します。何を配分するのかと言えば、「時間」や「エネルギー」、「集中力」、時には「お金」もあるかもしれません。それらを計画的に見通しをもって、配り分ける「配分」が大切になります。

これまでたくさんの生徒、先生と接して、できる人は「配分」がとても上手でした。テスト前やバッチ間際にバタバタせず、ゆとりをもっていました。おそらく、「このくらいの時間とエネルギーを注げば、できそうだ。」という感覚に優れているのだと思います。でも、この感覚は生まれ持ったものではなく、経験と工夫を重ねて身に付くのだと考えます。

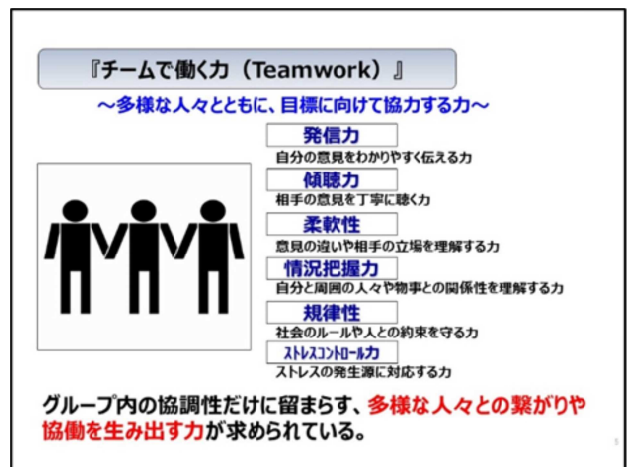
「配分」の難しいことの1つに、やりたいこととやるべきことのバランスがあります。例えるなら、好きな食べ物と健康的な生活のために必要な食べ物のようなものです。このバランスが良いときは継続し、このままではよくないと感じたら改善する必要があります。また、成長に合わせてバランスを調整することも求められます。

まず、失敗を恐れるよりも、やってみること、挑戦することです。最初は、できないことが当たり前ですから、徐々にできることを増やし、自分の「配分」を見つけることです。それは、改善を重ねていくことでもあります。皆さんの間でも、失敗を共有して、互いが高め合うことを期待しています。

## 「社会性」を身に付ける

「社会性」とは、「①集団をつくって生活しようとする性質。②とじこもるのではなく、周囲の人々と交際しようとする生活態度。社交性。③社会的な問題への関心があること。また、社会的な問題を提起する力があること。(広辞苑)」です。「社会性」は、生まれもつての先天的なものではなく、集団生活を通じて後天的に育まれる部分が大きな資質と言えます。また、国や地域、時代によっても「社会性」は変化しますので、固定的ではなく、多面的、流動的にとらえる必要があります。近年、ゲームやスマホの普及により、個別化が進んでいます。そんな時代ですから、社会性を育む機会が重要になります。

私は、生徒に身に付けさせたい「社会性」について、経済産業省が示した「社会人基礎力」の「チームで働く力」を参考にしています。



5月18日に行われる体育祭は、5色対抗の縦割りで行います。対抗戦の学校行事を通して、「チームで働く力」が身に付くことを期待していますので、ご家庭でもご支援をお願いします。

## <藤中学校の部活動について>

### 1 本校の活動方針

部活動は、生徒の主体性や協調性を育む場です。また、部活動を充実するため、授業をしっかり受け、規則正しい生活をすることも大切になります。その他にも目標や練習計画づくり、自己管理など将来に役立つ経験を期待しています。

### 2 複数顧問制と活動時間の確保

複数顧問により生徒の活動の機会を確保しています。「鶴ヶ島市部活動ガイドライン」に則り、平日は週4日2時間程度、土日はどちらかを休みにしています。ただし、決められた大会前の期間は、例外的に朝練習と土日両日の練習があります。

### 3 「緊張」を学ぶ場

部活を通して学んでほしい体験の一つは「緊張」です。上手であろうと、下手であろうと、初めての大会では必ず緊張します。緊張した状況で力を出す難しさを学び、日々の練習や生活を大切にしたいと思います。また、部活動の服装に着替えることを通して、気持ちの切り替えも学んでほしいと思います。

### 4 生涯スポーツ・文芸として

私は中学校で始めた卓球を続け、健康的に過ごしています。部活動を通して、人との出会いに恵まれ、多くのことを学び、心身共に成長できたと思います。

中学校を卒業後、社会人あるいは退職後に、スポーツ・文芸などを通して、地域の方々との関わり方を学ぶ機会だと考えています。

### 5 過渡期を迎え

部活動は地域移行を含め、過渡期にあります。国や県、市から方針や指導がありましたら、その都度お知らせします。

## <定期テストに向けて>

5月28、29日に、本年度最初の定期テストがあります。おそらく多くのご家庭で、「勉強なさい!」とお子さんに声をかけるとおもいます。

定期テストの目的は、学習内容の理解や定着を確認することです。極論を言えば、テスト勉強は、「知識を増やし、読み書きや計算等の処理を速くして、制限時間内に正しい答えに達すること」と言えます。中高生の間は、このような状況が続きます。

私の経験では、テスト後に適切に取り組んでいる生徒は、着実に伸びていました。具体的には、「なぜ間違えたのか」を振り返り改善を重ねていました。間違いには、「ケアレスミス、時間が足りない、問題の読み間違い、思い出せない、知らない、分からない」などいろいろな種類があります。点数や順位よりも、原因を考えて、授業の受け方や家庭学習につながるように、声かけをお願いします。

## <生徒朝会 委員長・団長紹介>

4月23日(火)の生徒朝会で、前期委員長と体育祭団長の紹介がありました。



### 前期委員会委員長

学級 1年 2年 3年

体育 保健  
生活 給食  
環境福祉 図書  
放送

### 体育祭 団分け・団長

	1年	2年	3年	団長
赤団	1組	5組	4組	
青団	2組	2組	2組	
緑団	4組	4組	5組	
黄団	5組	3組	3組	
桃団	3組	1組	1組	



藤中学校は、生徒が主体的に委員会活動、学校行事に取り組みます。